

平成27年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市秋葉区文化会館		
管理者名	トールツリーグループ	指定期間	平成25年6月1日 ～ 平成30年3月31日
担当課	秋葉区地域課		
所在地	新潟市秋葉区新栄町4番23号		
根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律		
設置条例	新潟市秋葉区文化会館条例		
施設概要	敷地面積：17,165.34㎡ 建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 延床面積：2,997.36㎡ 諸室：ホール（496席）、練習室1・2、スタジオ、楽屋兼会議室1・2、控室兼会議室		

施設設置目的

地域における文化活動及び芸術活動の拠点として、市民に音楽、演劇等の鑑賞の機会を提供し、並びに市民の文化活動及び芸術活動を支援することにより、これらを通じた市民相互の交流を推進し、及び地域文化の振興を図ること

管理・運営に関する基本理念，方針等

1 事業理念

地域の伝統芸能の発展や新たな文化活動の胎動を促すことはもとより、様々な文化的・人的な交流を生み出し、地域におけるひとづくり・まちづくりの中心的役割を果たすこと

2 事業の運営方針

(1) 文化芸術活動の日常化・高度化の支援

- ア 地域の子どもと文化芸術の距離を縮めることで、文化活動のすそ野拡大と将来の芸術家を育成する。
- イ 文化芸術に対する一般市民の関心と理解を深め、気軽に鑑賞・実演参加できる機会を創出する。
- ウ 高水準で多彩な実演芸術に触れる機会を提供し、地域の文化活動の更なる高まりを支援する。
- エ 地域で活動する新たな人材を育成する。

(2) 新しい学びと交流の場の創出

- ア 文化・教育の拠点として、様々な分野の文化が刺激し合うコミュニケーションの場を創出する。
- イ 気軽に立ち寄れる企画実施により、アットホームな雰囲気を醸成する。

(3) 地域と連携・協働での会館運営

- ア 地域や利用者とともに自主事業等の企画・運営を協働して実施する。
- イ 管理運営をサポートする市民組織の構築・育成を行う。

(4) 地域性を活かした事業展開

地域性を活かしたオリジナリティのある事業を継続的に展開する。

3 施設の管理運営方針

- (1) 当該業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。
- (2) 施設の設置の目的を踏まえて、各施設との適正な一体的な管理によりその効用を最大限発揮させるよう、努力するものとする。
- (3) 業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、仕様書に示す多岐にわたる業務について適切に進捗管理を行い実施するものとする。
- (4) 指定管理者は、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、各施設利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指すものとする。
- (5) 施設利用者や地元等からの要望等に対し、公の施設の管理運営の公益性に鑑み、公平・中立を是としてその運営にあたるものとする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準稼働率の達成	ホールの稼働率 年間40%以上	ホール年間稼働率 50%	A	目標を大きく上回った。
		スタジオ・練習室の回転率(コマ数) 年間45%以上	スタジオ, 練習室 1・2の回転率49%	A	目標を大きく上回った。
	各種サービス別 満足度	利用者アンケートで「満足」が85% 以上	各種サービス別で 平均92%	A	利用者から高評価を いただいている。
	苦情・要望への対応	苦情・要望には原則5営業日以内 に対応	HPからのお問い合わせ等は原則24時間 以内に対応	A	迅速かつきめ細やかに 対応した。
	文化事業の実施	自主文化事業の鑑賞機会を 年間7事業以上実施	鑑賞事業年間9事 業	A	目標以上に実施した。
設置目的に合致した普及, 育成, 創造型事業を効果的実施		前年度に比べ、りゅーとびあとの 共催事業2本を追加, おも てなし講座ではボランティア登 録5名を確保。	A	りゅーとびあとの連携強 化, ボランティア育成に 尽力した。	
財 務	適正な財政運営	収支計画に基づく収入の確保及び 経費の執行	収支計画に基づき 業務を適切に実施	B	適切に実施している。
	適正な財務管理	財務マニュアルの作成及び収支状 況の適切な記録	本社作成の経理マ ニュアルに従い, 事 務処理を行い, 本 社に報告	B	適切に実施している。
	市の歳入の確保	使用料収入を 月平均715千円以上	月平均642,466円。	C	市の歳入確保に努めら れたい。
業 務	安全責任者の配置 と安全確保体制の 確立	防災訓練の実施 年2回以上	秋葉消防署との合同訓練を 含め2回実施。また防犯・防災 など危機管理研修を2回実施 した。	A	防災訓練や危機管理 研修に積極的に取り組 んでいる。
	事件・事故発生時 の対応の適切さ	AEDの使用法の周知徹底	秋葉消防署によるAED研修 (町内会等含む), 市消防局に てAEDサポーター制度登録に 伴う講習に参加	A	積極的に取り組んでい る。
	業務仕様書等に定 める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項 の遵守	遵守に努めた	B	適正に遵守されてい る。
人 材	職員研修の実施	内部・外部実務研修の実施 1人あたり年2回以上	1人当たり年5回以 上の研修	A	他施設との連携や内容 の工夫等により実施体 制を強化した。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守に努めた	B	適正に遵守されてい る。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

鑑賞事業では前年度よりさらに1本追加したことなどから広く区民に鑑賞機会を提供しました。また、ホールの稼働率、スタジオ・練習室1、2の回転率向上の結果、年間利用者数は83,290人と昨年を1万人以上上回った。一方で、使用料収入が基準値を下回り、年度の途中から施設利用者のための施設見学会を開催、また、ピアノ教室、諸団体等へのDM、個別営業などを展開した結果、年度末近くになり効果が見えてきたところです。新年度も昨年度以上の営業展開を実施します。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

全ての評価項目で概ね目標を上回る成果を挙げており、適正に運営されている。鑑賞事業では多くの入場者を記録し、普及事業では「ワンコイン」コンサートやアウトリーチ事業など文化を身近に感じる事業を行うとともに、創造事業では地域住民から参加者を募ったレジデンス合唱団「フォリエ」の活動を行うなど、秋葉区の文化振興に大きく貢献している。